

平成25年度 第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議

日 時:平成25年10月21日(月)

19:00~20:30

場 所:ピュアリティまきび 「飛鳥」

次 第

1 開 会

2 議 題

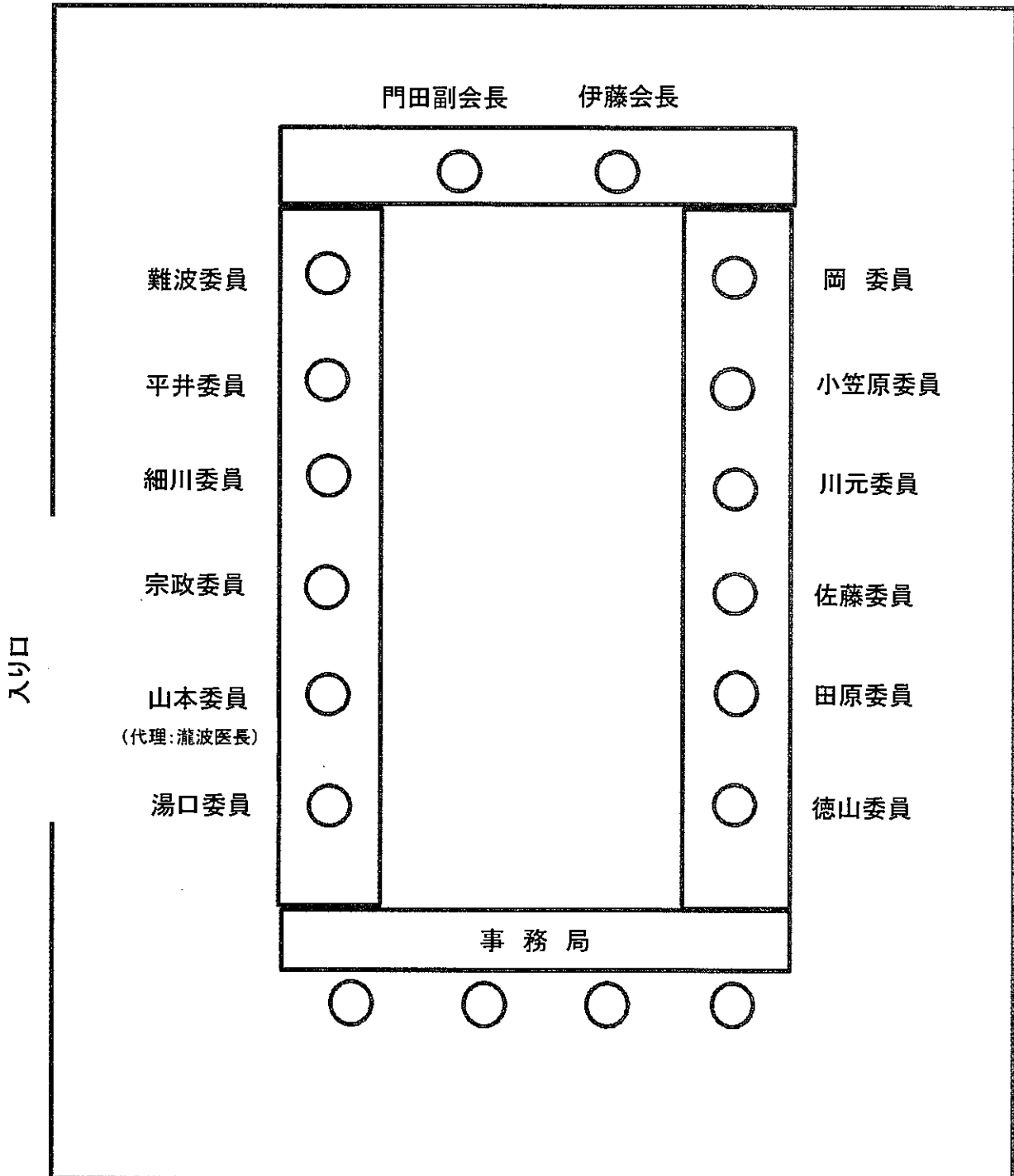
- (1) 「安心ハート手帳」の運用評価について
 - ・ 「多職種を対象とした説明会」の状況報告について
 - ・ アンケート回収結果について
- (2) 平成26年度の活動計画(案)について
- (3) 心臓病県民公開講座の開催について
- (4) その他

3 閉 会

平成25年度 第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 席表

日時:平成25年10月21日(月)19:00~20:30

場所:ピュアリティまきび 3階「飛鳥」



岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議設置要綱

(目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 検討会議は、急性心筋梗塞の医療に係る次の事項について協議する。

- (1) 地域連携クリティカルパスに関すること。
- (2) 疾病の経過等に応じて医療機関に求められる医療機能等の具体的な要件に関すること。
- (3) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）に関すること。
- (4) その他急性心筋梗塞の医療推進に必要な事項。

(組織)

第3条 検討会議は、委員17名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等で構成する。

(会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

(会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(部会)

第7条 検討会議は、必要に応じて、部会を設置することができる。

(意見の聴取)

第8条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 検討会議の庶務は、岡山県保健福祉部医療推進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年1月20日から施行する。

この要綱は、平成24年7月 2日から施行する。

第2回岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属・職 名	氏 名	備 考
岡山大学病院 循環器内科 教授	伊 藤 浩	
津山中央病院 循環器科部長	岡 岳 文	
岡山県薬剤師会常務理事	小笠原 加代	
倉敷中央病院心臓病センター 循環器内科 主任部長	門 田 一 繁	
川崎医科大学附属病院 循環器内科 医長	川 元 隆 弘	
総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	佐 藤 哲 也	
日本健康運動指導士会 岡山県支部長	田 原 秀 二	
岡山県医師会 理事	道 明 道 弘	欠席
岡山県備北保健所 所長	徳 山 雅 之	
岡山県病院協会 理事	難 波 義 夫	
岡山県看護協会 常務	平 井 康 子	
国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	細 川 優	
国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	宗 政 充	
心臓病センター柳原病院 循環器内科医長	瀧 波 裕 之	山本桂三委員の代理
岡山県理学療法士会	湯 口 聡	

(五十音順)

(事務局)

所 属・職 名	氏 名	備 考
岡山県保健福祉部医療推進課 課長	則 安 俊 昭	
岡山県保健福祉部医療推進課 総括副参事	津 島 孝 志	
岡山県保健福祉部医療推進課 主任	土 橋 酉 紀	
岡山県保健福祉部医療推進課 副参事	富 田 辰 郎	

「多職種を対象にした岡山県急性心筋梗塞医療連携パス説明会」出席者

職 種		人数(人)
医師		57
看護師		113
歯科医師		2
薬剤師		20
理学療法士		42
作業療法士		2
管理栄養士		9
放射線技師		3
検査技師		4
健康運動指導士		17
医療ソーシャルワーカー		21
介護福祉士		1
介護支援専門員		14
ケースワーカー		1
医療クラーク		2
診療録管理士		1
精神保健福祉士		1
病院事務	リハビリテーション課	1
	地域医療連携室	6
	医療事務	40
行政	保健師	17
	事務職	2
不明		2
合 計		378

<開催日別>

(1) 備前地区(6月26日開催)	ピュアリティまきび	149人
(2) 美作地区(7月 3日開催)	津山慈風会記念ホール	147人
(2) 備中地区(7月23日開催)	マービーふれあいセンター	82人

「多職種を対象とした岡山県急性心筋梗塞医療連携パス説明会」での主な質疑

(Q1) 連携パスに歯科の関わる項目を入れてほしい。

急性期病院で口腔ケアができないのは理解しているが、回復期の段階でかかりつけの歯科医がワーファリン使用を理由に治療を断るようなケースも見られる。

治療の経過で、かかりつけ医等が「口腔ケアを行うよう指導を行う」といった項目を追加することはできないか。

(回答) 歯周ポケットの深い人は心疾患のリスクが高まることも知られており、歯科は重要な項目である。検討課題としたい。

岡山県の糖尿病パスには歯科の項目が設けられている。

(Q2) かかりつけ医療機関で急性心筋梗塞を治療する専門的な設備を備えているとは言えないが、連携パスに参加することはできるのか。

また、連携パスでかかりつけ医に求められる役割はどういったことか。

(回答) かかりつけ医療機関がどこでも参加できるよう間口は広くしている。届出様式でお尋ねするような項目を記載してもらう程度としており、どこまでをして欲しいというものはない。

届出してもらうのはフィードバックしてもらうため、協力してやりましょうということ。

患者がパスを持ってきてもかかりつけ医が知らないでは困るので、まずは認識してもらうことが重要である。

(Q3) パスは急性期病院からスタートすると思うが、どういった病院が参加しているのかは確認できるのか。

(回答) 参加医療機関は県庁医療推進課のホームページ上で公表している。まだまだPR不足と思うので、周知方法についても検討していきたい。

(Q4) 運動処方箋は急性期病院が作ってくれるのか。

(回答) 退院するまでに急性期病院が作るのが基本だが、出来ない場合も想定される。

パスにエントリーされる患者は概ねリハビリも順調な患者なので、柔軟な対応で大丈夫と思う。パスは急性期病院との連携で運用していくので、相談してほしい。

(Q5) 「多職種連携」というのは、流行の言葉ではあるが、地方で実現するのは大変難しく、結局大きな病院にお願いすることになる。このパスは大きな病院にお願いできるのか。

今まで様々なパスがあったが、機能していなかったように思う。

(回答) 県内のカテーテル治療が可能な急性期病院は全部参加している。合意の上で走らせているのでその点は心配ないと思う。

例えば健康運動施設がない地方でも、かかりつけの先生がこの程度の運動はOKと言えるような内容をパスに盛り込めればと思っている。

(Q6) 今後「在宅医療」については避けて通れないと思うが、その点は考慮しているのか。

(回答) 高齢者時代であり、これからは介護との連携は不可欠と思っている。

そういう意味では診療点数化がされていないのは幸運だったと思っている。点数化されていけば、様々なパスが出来て、受ける側は収集がつかなくなる。

このパスは全県下統一でコンセンサスを得ており、同じ情報の下、同じ治療が出来るので、介護との連携は取りやすいと考えている。

(Q7) 健康増進施設の者として、ようやく出番が来たかと思っている。とは言っても、心筋梗塞というハイリスクの人という不安はある。しかし説明を聞いた限り実際訪れる人は、そこまでハイリスクの人が来ることはないという理解で良いのか。

(回答) 維持期の状態なので、個人で自由に運動施設に行くような人であるが、黙って行って倒れた人もいるし、逆に心筋梗塞のことを言って門前払いを食った人もいる。心筋梗塞をした人が運動できる場というのが整備されていないのが実情であるが、今すぐには無理にしても、長い目で見れば少しずつ浸透していくのではないかと思っている。

全国的に見ると、健康運動施設が心臓リハビリに参加するための最低限の要件、いわゆる「お墨付き」のような基準を作ろうとしている動きがある。

例えばジャパンハートクラブが運営するスポーツクラブは参加を認められているし、こういった施設を全国的に作ろうという状況である。

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数12施設（届出急性期医療機関数13施設）回収率：92.3%

（平成25年4月1日～9月30日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7
	急性心筋梗塞による入院患者数	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を 選択した場合の パス利用度及び 件数	パスを利用 しなかった理由	情報量 について	その理由		その他
心臓病センター・橿原病院	132人	いた	全員が利用 17人 (院外紹介16人)	—	少ない	栄養指導、薬剤指導に関する情報記入欄が無いため。		栄養指導、薬剤指導についての情報記入欄があれば良いと思う。
倉敷中央病院	86人	いた	一部利用 27人 (院外紹介26人)	安心ハート手帳を配付したが、県外(福山)の病院でのフォローを希望されたため	ちようどよい	必要最低限の項目であると思います。		高齢者ではADLは自立しているが、安心ハート手帳を自分で使用できる(活用できる)か、という観点では難しいのではないかとという患者が多い。(当院での適応を見直す予定である。)
津山中央病院	46人	いた	一部利用 20人 (院外紹介16人)	忙しくて手が回らなかったため。 患者が施設へ転院したため。 患者の理解力が乏しいため。 患者が県外在住のため。	ちようどよい	診療情報提供書が紹介医に送付されるので、患者が持ちまわる冊子の内容としては、ちようどよいと思う。		「患者の日々の生活記録」の記入欄がもう少し大きいほうが記入しやすい。持参するのに大きすぎるとの意見あり。
川崎医科大学附属病院	40人	いた	全員が利用 7人 (院外紹介5人)	—	ちようどよい	急性期病院記入部分が目立つように、裏の肩に色付けしてもいいかと思う。		ルーブリーフだと持ち運びが不便なので、B5以下の冊子型式がいいと思う。記録欄は「HbA1C」「LDL-C」「HDL-C」等が記入できると便利かと思う。「糖尿手帳+血圧手帳」でしょうか。
岡山ハートクリニック	31人	いた	一部利用 12人 (院外紹介0人)	患者の理解が得られなかった	ちようどよい	—		—
岡山赤十字病院	27人	いた	一部利用 21人 (院外紹介21人)	患者の理解が得られなかった	ちようどよい	簡潔明瞭に記載できるため。		—

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5・問6		問7
	急性心筋梗塞による入院患者数	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のパス利用度及び件数	パスを利用しなかった理由	情報量について	その理由	その他	
岡山労災病院	14人	いた	全員が利用 9人 (院外紹介2人)	—	ちようどよい			
岡村一心堂病院	13人	いない	利用なし 0人	使用機会がなかったため	不明			
岡山大学病院	8人	いた	一部利用 5人 (院外紹介3人)	忙しくて手が回らなかったため。	ちようどよい	これ以上多くなると記入できないし、仕事量が増える、少なくなると情報量が少なすぎる。	大きさに対する不満がある。2種類あると良い。	
岡山市立市民病院	8人	いた	利用なし 0人	安心ハート手帳に対する医師の理解不足	ちようどよい			
岡山協立病院	6人	いた	一部利用 1人 (院外紹介0人)	死亡eventの方のため	ちようどよい		<ul style="list-style-type: none"> ・狭心症も含め、対象者を増やすことができれば良い(当院では心筋梗塞での入院例が少ないため) ・心筋梗塞以外で心臓リハビリテーション教室を受けられる方用に、冠動脈疾患パンフレットがあるか、ファイル毎配付できるような形があれば良い。 ・安心ハート手帳の日々の生活の記録がもう少し、枠が大きくなれば良い。 	
岡山済生会総合病院	3人	いた	利用なし 0人	いまだ、院内の体制が固まっていない。医師主導で進める場合は、他のパスと同様なかなか進まない。現時点では、対象患者が、かかりつけ医を持っていても、屈出をされていない。	ちようどよい		今後利用したうえで、考察していく。	
合計	414人		119人 (院外紹介89人)					

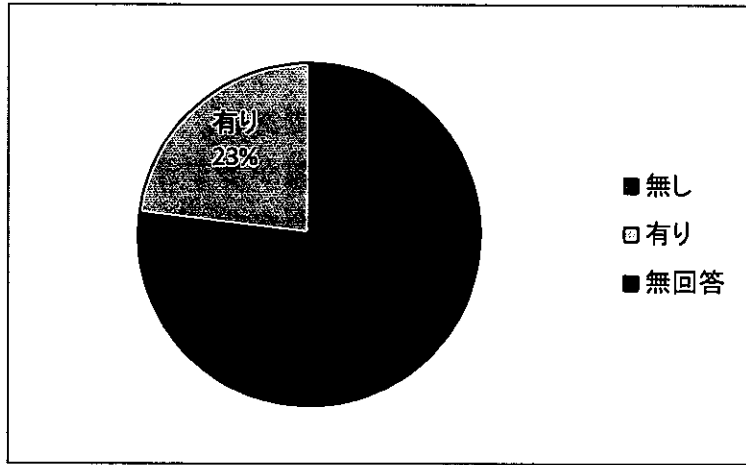
※問1の入院患者数が多い医療機関順

アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数 78 施設 (届出かかりつけ医療機関数 83 施設) 回収率: 86%

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1 有り	18
2 無し	60



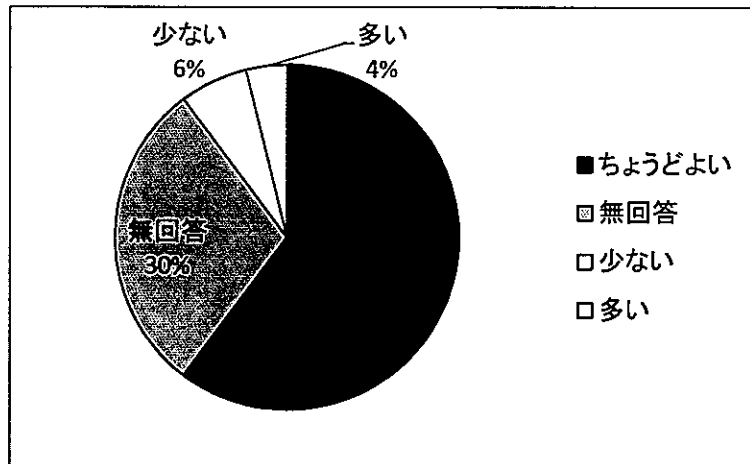
問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きします。

- ・パス利用件数 21件 (18医療機関)
- ・連携した急性期病院

倉敷中央病院	:	9件 (8医療機関)
総合病院岡山赤十字病院	:	6件 (5医療機関)
心臓病センター榊原病院	:	2件 (2医療機関)
津山中央病院	:	4件 (3医療機関)

問3 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

1 少ない	5
2 ちょうどよい	47
3 多い	3
(無回答)	23



問4 問3でそれぞれ選択された理由をご記入下さい。

<主な意見>

1 少ない

- ・紹介状の情報で充分である。
- ・DVDや心カテの画像情報が付いてくる急性期病院もあるため。

2 ちょうどよい

- ・わかりやすく、これ以上情報があると、全ての内容のチェックが難しくなる。
- ・気軽に利用できる
- ・ファイルなので持ち運びやすく、確認もしやすい。情報量も充分確保されている。
- ・専門的な方が作られたので、ちょうどよいのではと思う。
- ・診療中に記入できる範囲内である。
- ・導入されたばかりなので情報が多すぎても、対応しきれないのではと思う。
- ・患者さんが理解しやすそうだから。
- ・利用しやすく良いと思う。
- ・患者の状態が一目で分かるという意味では、良いのではないかと思う。

3 多い

- ・サイズも含めて、もう少しコンパクトになるとよい。
- ・情報量が多すぎて、少し分かりにくい。
- ・医療従事者にとっては十分な情報量だが、患者にとってはボリュームが多すぎる。

問5 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

- ・多職種で支えていくことがよくわかる冊子だと思う。内容も字の大きさも良い。
- ・この冊子を落とした時の連絡先(個人ではなく、発行した病院)への連絡方法があればいい。
- ・まだ見た事がない。
- ・軽症から重症、安定から不安定といった、それぞれの病態がわかりにくく感じる。

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名:
記入者:

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が平成25年4月に開始され、半年が過ぎました。そこで「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について ※ 平成25年4月1日～9月30日の実績

問1. 貴病院の急性心筋梗塞による入院患者数をご記入ください。 _____人

問2. 問1の入院患者のうち、「安心ハート手帳」の適応症例に該当する対象者がいましたか。

1. いた →問3へ
2. いない } →問5へ
3. 不明 }

※ 「安心ハート手帳」の適応症例（「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋）

「安心ハート手帳」の適応とする症例は、急性期病院が選定して下さい。
概ね以下に示す症例としています。

- ・重症心不全などの重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ・ADLが自立している症例
- ・冠動脈再灌流療法が施行された症例

問3. 問2で「1 いた」を選択した方にお伺いします。

貴病院で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

1. 対象者全員が利用 →問5へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
2. 対象者の一部が利用 →問4へ
_____人（うち院外への紹介件数 _____人）
3. 無し →問4へ

問4. 問3で「2 対象者の一部が利用」または「3 無し」を選択した方にお伺いします。

「安心ハート手帳」を利用されなかった主な理由をお聞かせ下さい(2つまで回答可)。

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった(院内での周知が図られていなかった)。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

()

2. 「安心ハート手帳」の様式について

問5. 「安心ハート手帳」に担当医等が記載する情報量についてお伺いします。

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

問6. 問5でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

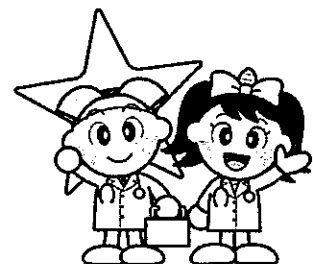
()

3. その他

問7. 「安心ハート手帳」の改善に向けて、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

()

ご協力ありがとうございました。



岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」 アンケート調査票

医療機関名: _____
記入者: _____

岡山県急性心筋梗塞医療連携パス「安心ハート手帳」の運用が平成25年4月に開始され、半年が過ぎました。そこで「安心ハート手帳」の運用等について先生方のご意見を伺い、今後の改善に活かしていきたいと思っておりますので、御協力の程よろしく願いいたします。

1. 「安心ハート手帳」の運用実績について ※ 平成25年4月1日～9月30日の実績

問1. 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

- 1. 有 _____ 件
- 2. 無

問2. 問1で「1 有」を選択した方にお聞きします。

連携した急性期病院名をご記入ください。 _____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件
_____ 病院 _____ 件

2. パス様式について

問3. 「安心ハート手帳」から受け取る情報量は十分でしょうか。

- 1. 少ない
- 2. ちょうどよい
- 3. 多い

問4. 問3でそれぞれ選択された理由をご記入ください。

(_____)

問5. 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

(_____)

ご協力ありがとうございました。



急性心筋梗塞医療連携パス届出医療機関

番号	医療圏	医療機関名	所在地
1	県南東部	一般財団法人淳風会 旭ヶ丘病院	岡山市
2		医療法人成和会 粟井内科診療所	岡山市
3		医療法人知誠会 岩藤胃腸科・外科・歯科クリニック	岡山市
4		内科・循環器内科 氏平医院	岡山市
5		医療法人ふたば会 うちおグリーンクリニック	岡山市
6		医療法人 岡田内科	岡山市
7		独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山市
8		医療法人自由会 岡山光南病院	岡山市
9		岡山医療生活協同組合 総合病院岡山協立病院	岡山市
10		社会福祉法人恩賜財団 岡山済生会総合病院	岡山市
11		総合病院 岡山市立市民病院	岡山市
12		日本赤十字社岡山支部 総合病院岡山赤十字病院	岡山市
13		医療法人社団操仁会 岡山第一病院	岡山市
14		国立大学法人岡山大学 岡山大学病院	岡山市
15		社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院	岡山市
16		医療法人五尽会 岡山ハートクリニック	岡山市
17		独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院	岡山市
18		財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院	岡山市
19		医療法人 岡村一心堂病院	岡山市
20		医療法人社団 かとう内科並木通り診療所	岡山市
21		学校法人川崎学園 川崎医科大学附属川崎病院	岡山市
22		医療法人一進会 河合外科	岡山市
23		社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院	岡山市
24		医療法人創和会 重井医学研究所附属病院	岡山市
25		医療法人 せとうちクリニック	岡山市
26		医療法人清屋会 高屋クリニック	岡山市
27		谷野内科循環器科クリニック	岡山市
28		辻クリニック	岡山市
29		医療法人隆和会 畑クリニック	岡山市
30		医療法人 深井医院	岡山市
31		藤本循環器内科クリニック	岡山市
32		伏見医院	岡山市
33		医療法人社団 淵本医院	岡山市
34		松本医院	岡山市
35		ながい内科クリニック	岡山市
36		医療法人 中村医院	岡山市
37		医療法人社団恵誠会 大西病院	玉野市
38		医療法人 近藤医院	玉野市
39		玉野三井病院	玉野市
40		医療法人不老会 小林クリニック	備前市
41		備前市国民健康保険市立備前病院	備前市
42		備前市国民健康保険市立吉永病院	備前市
43		瀬戸内市立瀬戸内市民病院	瀬戸内市
44		医療法人仁生会 長田医院	瀬戸内市
45		医療法人 平病院	和気町
46	県南西部	医療法人 イマイクリニック	倉敷市
47		医療法人王慈会 王子脳神経外科医院	倉敷市
48		学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院	倉敷市

番号	医療圏	医療機関名	所在地	
49	県南西部	医療法人 かわたクリニック	倉敷市	
50		医療法人誠和会 倉敷記念病院	倉敷市	
51		医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル	倉敷市	
52		財団法人淳風会 倉敷第一病院	倉敷市	
53		公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	倉敷市	
54		医療生協 コープくらしき診療所	倉敷市	
55		医療法人創和会 しげい病院	倉敷市	
56		医療法人高志会 柴田病院	倉敷市	
57		医療法人社団河合会 新倉敷胃腸肛門外科内科	倉敷市	
58		医療法人エム・ピー・エヌ 武田病院	倉敷市	
59		倉敷医療生活協同組合 玉島協同病院	倉敷市	
60		医療法人社団新風会 玉島中央病院	倉敷市	
61		医療法人和楽会 野上内科医院	倉敷市	
62		八王寺内科クリニック	倉敷市	
63		医療法人和葉会 まび記念病院	倉敷市	
64		医療法人水清会 水島第一病院	倉敷市	
65		内科・小児科 猪木医院	笠岡市	
66		笠岡市立市民病院	笠岡市	
67		医療法人社団清和会 笠岡第一病院	笠岡市	
68		医療法人健奉会 谷向内科	総社市	
69		医療法人行堂会 長野病院	総社市	
70		医療法人飛翔会 鴨方クリニック	浅口市	
71		医療法人社団同仁会 金光病院	浅口市	
72		みうら内科循環器科	浅口市	
73		小塚医院	矢掛町	
74		医療法人正光会 鳥越病院	矢掛町	
75		矢掛町国民健康保険病院	矢掛町	
76		高梁・新見	医療法人慶真会 大杉病院	高梁市
77			高梁市国民健康保険成羽病院	高梁市
78			医療法人清潔会 高梁中央病院	高梁市
79			医療法人緑隆会 太田病院	新見市
80			社会医療法人哲西会 哲西町診療所	新見市
81			医療法人社団思誠会 渡辺病院	新見市
82		真庭	医療法人社団井口会 総合病院落合病院	真庭市
83	社会医療法人緑荘会 金田病院		真庭市	
84	津山・英田	医療法人 いちば医院	津山市	
85		医療法人こころ 勝北診療所	津山市	
86		医療法人勝北クリニック 勝北すこやかクリニック	津山市	
87		財団法人津山慈風会 津山中央病院	津山市	
88		財団法人津山慈風会 津山中央記念病院	津山市	
89		津山東クリニック	津山市	
90		たまち内科クリニック	津山市	
91		中尾内科クリニック	津山市	
92		またの内科循環器科クリニック	津山市	
93		青山医院	美作市	
94		福井医院	美作市	
95		一般財団法人共愛 芳野病院	鏡野町	
96	医療法人 さとう記念病院	勝央町		

平成26年度 岡山県急性心筋梗塞医療連携検討会議関連事業計画（案）

	内 容
3月	○届出医療機関に運用実績等の報告依頼(3月末)
(H26年度) 4月	↓ (実績とりまとめ、分析)
5月	↓ 第1回検討会議の開催(5月末頃)
6月	① パス運用評価について ② <u>パス修正内容の検討</u> について 等
7月	↓ <必要に応じてワーキンググループの開催>
8月	
9月	パス評価結果を届出医療機関へ報告
10月	<u>岡山県心臓リハビリテーション啓発事業</u> の実施(10月頃)
11月	第2回検討会議の開催(仮)(11月末頃)
12月	①パス修正案の報告について 等
1月	
2月	<パス改訂版印刷>
3月	○届出医療機関に運用実績等の報告依頼
(H27年度) 5月頃	↓ (実績とりまとめ、分析) ↓ 第1回検討会議の開催(仮) ① パス運用評価について ② 平成27年度の活動内容について ③ 第7次岡山県保健医療計画について 等

平成25年度 岡山県急性心筋梗塞医療連携検討会議関連事業計画

	内 容
5月	<p>第1回検討会議の開催 (5月27日)</p> <p>① パス評価のためのアンケートについて</p> <p>② 今年度の予定について</p> <p>③ ポスター、チラシ、ホームページ等による普及啓発について 等</p> <p>(6月下旬～7月にかけて)</p> <p>多職種を対象とした説明会の開催 (備前、備中、美作)</p> <p>① 急性心筋梗塞の医療について</p> <p>② 岡山県急性心筋梗塞医療連携パスの運用について</p>
6月	
7月	
8月～9月	
10月	<p>第2回検討会議の開催 (10月21日)</p> <p>① パス運用開始後の中間検討について</p> <p>② 県民公開講座の開催について 等</p> <p>(10月27日)</p> <p>心臓病患者ウォーキングの開催 (備前)</p> <p>(11月10日)</p> <p>県民公開講座の開催</p> <p>① 心筋梗塞の予防・治療・再発予防について</p> <p>② 心臓リハビリテーションについて</p> <p>③ パスを活用した心臓リハビリテーションの普及啓発 等</p>
11月	
12月	
1月	
2月	<p><パス増刷></p> <p>○届出医療機関に運用実績等の報告依頼</p>
3月	
(H26年度) 5月頃	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">(実績とりまとめ、分析)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>第1回検討会議の開催</p> <p>① パス運用評価について</p> <p>② 平成26年度の活動内容について 等</p>

ハートフルウォーキングの御案内

操山ウォーキング

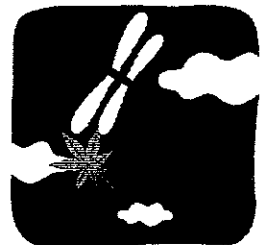
参加者の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。
ウォーキングの詳細が決定いたしました。ノルディックウォーキングをしながら秋の操山と市内史跡をみながら、楽しくゆっくり歩きましょう！

・日程：平成 25 年 10 月 27 日（日）

午前 8：00	受付開始		
午前 8：30	岡山赤十字病院(体育館) 集合	午前 11：30	休憩（20分）
午前 9：00	岡山赤十字病院 出発		（少林寺）
午前 9：20	東山電停 到着	午前 12：30	東山電停 出発
	—ウォーキング—	午後 1：00	岡山赤十字病院 到着 解散

- ・参加費：無料
- ・交通手段：貸し切り大型バス(自家用車でお越しの方は病院駐車場をご利用ください。その場合駐車券を受付までご持参下さい。)
- ・申込方法：同封のはがきを返送してください。
- ・申し込み締め切り：9月27日（金）必着（先着順 定員40名）
- ・軽食：昼食は用意していません。水分、軽食等のご自身で用意してください。
- ・持ち物：飲料水、低血糖時の補食、雨具、敷物、防寒着など
- ・注意事項：軽登山用の服装・靴でお越しください。
- ・その他：雨天の場合（日赤病院体育館内にて代替えのイベントを準備していますので、予定どおり集合してください。)

※お問い合わせは・・・ハートフルウォーキング事務局
岡山赤十字病院 医療社会事業課 梶谷
TEL 086-222-8811 (内) 1170



参加ご希望の方は同封のはがきに必要事項をご記入の上、事務局まで郵送してください。参加が確定しましたら、事務局から御連絡をいたします。

- *お名前、ご住所、生年月日はレクリエーション保険に加入するために必要な情報です。目的以外には使用しません。
- *行事参加中の緊急時連絡先を必ずご記入ください。

心臓病（急性心筋梗塞）県民公開講座開催要項

1. 開催趣旨：

心臓病（主に急性心筋梗塞）を予防するための生活習慣、また、不幸にして心臓病を発症した際の最新治療法や再発を予防するための「心臓リハビリテーション」の概要を、わかりやすく県民に紹介する。

2. 日 時： 平成25年11月10日（日） 13：30～15：30

3. 会 場： 倉敷市民会館ホール

4. テー マ： 人生100年 ～知って得する心臓病のはなし～

5. 対 象 者： 県民、急性心筋梗塞の予防や治療に携わる者 等

6. 主 催： 岡山県

7. 内 容

座 長／岡山大学大学院 循環器内科教授 伊藤 浩
司 会／総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長 佐藤 哲也

時刻	時間 (分)	項 目	講 師 等
13:30	20	開会 あいさつ 「ホントはこわい心臓の病気」	岡山大学大学院 循環器内科教授 伊藤 浩
13:50	25	(1) 心臓病の最新の治療	講師：倉敷中央病院 循環器内科主任部長 門田 一繁
14:15	20	(2) 減塩とカロリー制限とバランス	講師：国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長 細川 優
14:35	20	(3) 運動療法について	講師：日本健康運動指導士会 岡山支部長 田原 秀二 心臓病センター榊原病院 理学療法士 湯口 聡 <健康増進のための簡単な運動>
14:55	20	(4) 心筋梗塞になっても元気に長生きするために	講師：津山中央病院 循環器科部長 岡 岳文
15:15	15	質疑応答	座長、講師、県
15:30		閉会 あいさつ	岡山県庁保健福祉部 医療推進課課長 則安 俊昭

講演5 「心筋梗塞医になっても元気に長生きするために」

講師：津山中央病院 循環器科部長 岡 岳文 先生

【メモ】

ご静聴ありがとうございました。



心臓病（急性心筋梗塞）県民公開講座 質問票

本講座の最後に、皆様のご質問にお答えする時間を設けますので、本日の講師におたずねしたいことがありましたら、ご記入ください。

< 質問 >

- ※ 質問票は会場内の係員にお渡しください。
- ※ 時間の関係で、ご質問にお答えできない場合もありますので、御了承ください。。



県民フォーラム用プログラム（案）

平成 25 年 10 月 21 日
日本健康運動指導士会 田原秀二

注意事項

- ①無理をしない
- ②病気や怪我のある方
- ③痛みがあるとき

序

坐位正身

- (1) 深呼吸
- (2) 左右揺振
(座骨の真上に頭が対応すること)

破

坐位

- (3) 足踏み
- (4) 肩のリラクセーション
- (5) 脊柱起立筋の体操
坐位正身
首の前屈および伸展
首と胸の前屈および伸展
首と胸と腰の前屈および伸展

急

- 立位または坐位姿勢
- (6) 左右揺振（開脚）

(重心の移動)

心臓病(急性心筋梗塞) 県民公開講座スケジュール

項目	7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
<p>項目</p> <p><県準備関係></p>	<p>課長協議</p> <p>●伊藤会長協議</p> <p>●各講師へ講演依頼</p> <p>要項決定</p>														
<p><後援依頼></p>	<p>後援依頼 (各団体、新聞社、放送局等)</p>														
<p><広報></p>	<p>[広報活動] (広報計画) ※チラシ配付計画</p> <p>●チラシ配付</p> <p>●県広報依頼</p>														
<p><ケーブルテレビ></p>	<p>(倉敷ケーブルテレビ等)</p> <p>○事前訪問</p> <p>●第1回打合せ</p> <p>●第2回打合せ(仮)</p> <p>○著作権等の許可</p>														
<p><運営・会場関係></p> <p>※ 主な委託内容 交通整理、場内整理 会場設営・撤去 垂幕・案内板作成 プロジェクター 等</p>	<p>(委託関係)</p> <p>●第1回打合せ</p> <p>●第2回打合せ</p> <p>[倉敷市民会館]</p> <p>●第1回会場打合せ</p> <p>●警備計画提出</p> <p>●第2回会場打合せ(10/29予定)</p>														

☆☆開催日(十一月十日)☆☆

広報活動について(10月21日現在)

【ポスター・チラシの配付】

(単位:枚)

配布先		チラシ	ポスター
1	後援依頼団体 (43)	3,200	120
2	パス届出医療機関 (95)	2,810	123
3	郡市医師会 (19)	200	20
	倉敷市連合医師会(6) (倉敷市、児島、玉島、北児島、都窪、吉備)	300	18
4	病院協会(定期発送便にて郵送)	180	180
5	県内病院(170箇所) 県内診療所(1,646箇所)	5,300	—
6	歯科医 (218) ※倉敷市内のみ (倉敷市、児島、玉島、都窪、吉備)	600	10
7	図書館 (12) (岡山県立、岡山10、総社1)	400	12
8	岡山市(保健所)、総社市 ※倉敷市は後援団体	150	15
9	県保健所 (9) →管内市町村	900	30
10	岡山、倉敷老人クラブ連合会	3,000	10
その他	公共施設 (倉敷市民会館、倉敷芸文館、マービーふれあいセンター、倉敷健康福祉プラザ、シルバー人材センター、倉敷運動公園)	600	12
	山陽マルナカ (46店舗) (岡24、倉15、総1、浅2、早1、矢2、笠1)	1,380	10
	天満屋倉敷店、天満屋リブ、倉敷イーオン	300	3
	その他(イベント開催時等に配付)	約10,000	約150
計		30,000	700

【広告等】

①新聞広告

	掲載誌	掲載規格	掲載日
1	山陽新聞 朝刊	半5段 モノクロ	10月20日

②広報誌等への掲載(無料)

	掲載誌	掲載号
1	広報誌(岡山、倉敷、笠岡、浅口、矢掛、総社市)	11月号
2	シニアナビ岡山	10月中旬 秋号(10月~12月)
3	岡山県医師会報	情報量による 10月10日号

③ケーブルTV放映

	ケーブルTV (ネット地区)	放映数
1	KCT倉敷ケーブルテレビ (倉敷市、総社市) (85,000世帯加入)	①10月25日より「お知らせコーナー」で毎日放映 ②本番収録し、12月中に4回以上放映予定 ※岡山県ケーブルテレビ協議会を通じて、全県的に放映予定

心臓病(急性心筋梗塞)県民公開講座 タイムスケジュール(案)

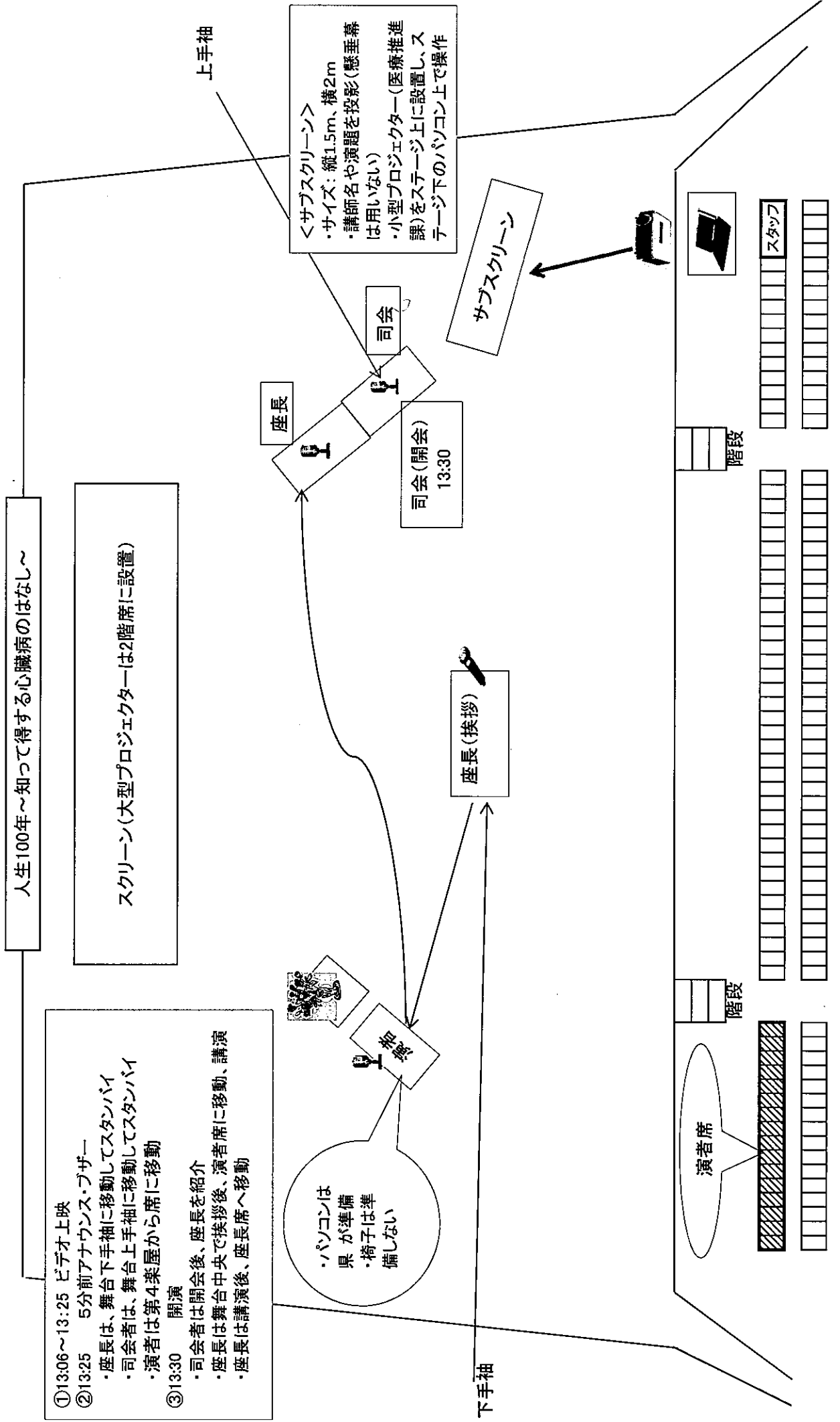
日時:平成25年11月10日(日) 13:30~15:30

場所:倉敷市民会館

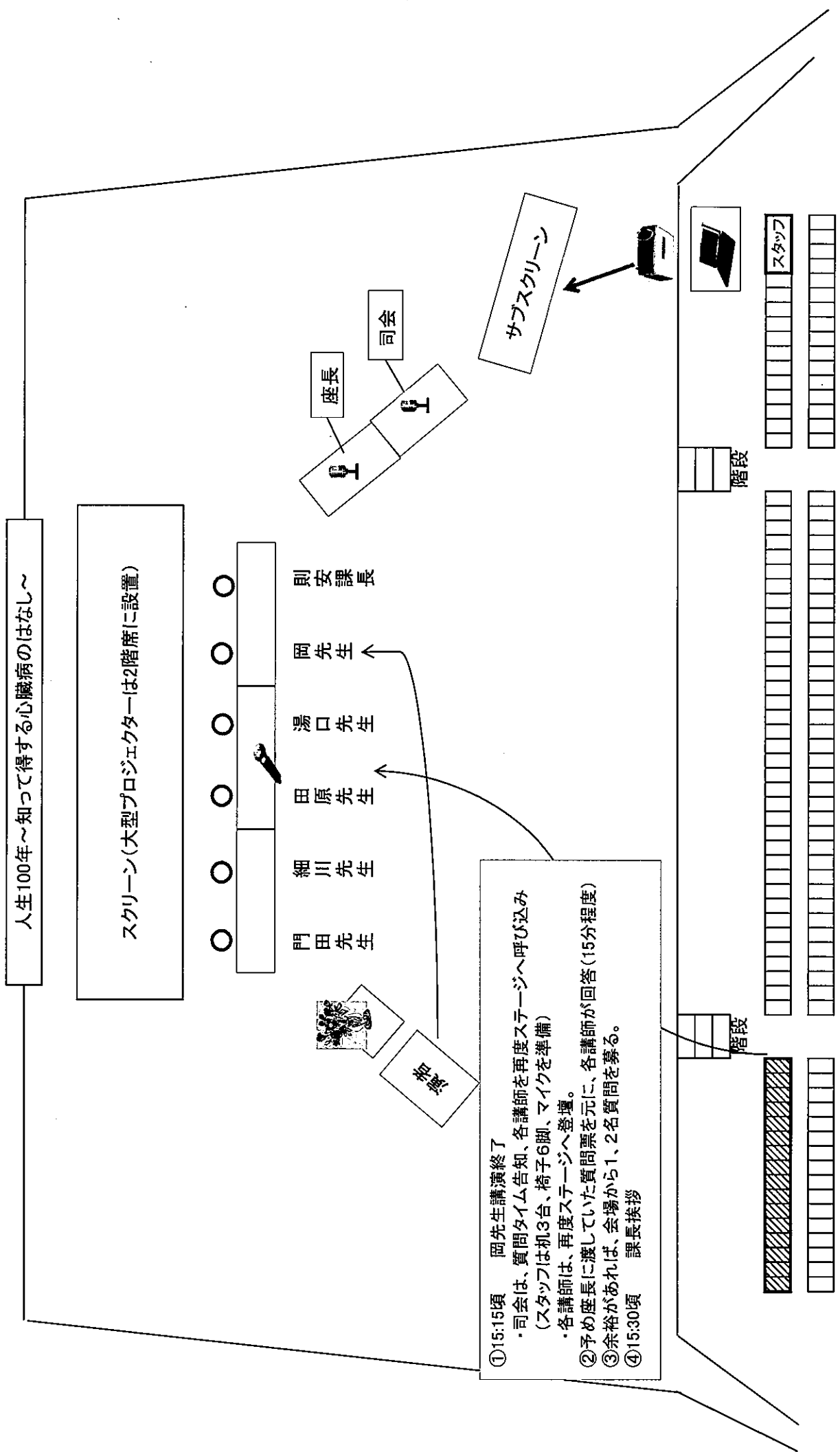
講師関係

時間	項目	責任者	内容など
12:45	座長、司会者、講師打合せ	津島	・駐車上付近で出迎え、第4楽屋に案内 → 駐車場案内図、楽屋案内図 参照 ・12:45より第4楽屋にて段取りなど打合せ
12:45	会場:BGM開始	國定	13:05まで
13:00	受付開始(開場)	大西	来場者の状況に応じて、12:50より開場
13:05	会場:ビデオ上映開始	國定	「ストップ動脈硬化 血管が危ない」(19分)上映
13:25	5分前アナウンス・ブザー		
	ビデオ停止	國定	
	座長、司会者、講師移動		座長:舞台下手袖に移動 司会者:舞台上手袖に移動 講師:講師席に移動
13:30	開演	佐藤先生	開演後、伊藤座長を紹介 → 会場レイアウト① 参照
	あいさつ	伊藤座長	あいさつに続き、講演「ホントはこわい心臓の病気」
13:50	講演1	門田先生	演題:「心臓病の最新の治療」
14:15	講演2	細川先生	演題:「減塩とカロリー制限とバランス」
14:35	講演3	田原先生 湯口先生	演題:「運動療法について」
14:55	講演4	岡先生	演題:「心筋梗塞になっても元気に長生きするために」
15:15	質疑応答		各講師先生はステージ上へ → 会場レイアウト② 参照
15:30	閉会あいさつ	則安	
15:35	退場アナウンス		アンケート回収、開場撤収開始

心臓病(急性心筋梗塞)県民公開講座 会場レイアウト①



心臓病(急性心筋梗塞)県民公開講座 質疑応答時レイアウト ②



①15:15頃 岡先生講演終了
 ・司会は、質問タイム告知、各講師を再度ステージへ呼び込み
 (スタッフは机3台、椅子6脚、マイクを準備)
 ・各講師は、再度ステージへ登壇。
 ② 予め座長に渡していた質問票を元に、各講師が回答(15分程度)
 ③ 余裕があれば、会場から1、2名質問を募る。
 ④15:30頃 課長挨拶

倉敷市民会館駐車場案内図

普通自動車 181台

バス 7台 (普通自動車 18台)

バック駐車
禁止

